



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

環境技術
実証事業
ETV 環境省

ヒートアイランド対策技術分野
実証番号 051-1321
第三者機関が実証した
性能を公開しています
実証年度 H25
www.env.go.jp/policy/etv
本ホームページは一定の基準に適合していることを
認定しているEPAマーク

遮熱塗料
遮熱効果 ★★★★★
認定年度 H25
一般社団法人 日本塗料工業会

(マイルドシリコン遮熱型のみ)

ハイルーフ

弱溶剤2液ラジカル制御形シリコン樹脂系塗料

マイルドシリコン
マイルドシリコン 遮熱型

弱溶剤2液シリコン樹脂系塗料

マイルドいぶし



SINCE 1932
大同塗料株式会社
DAIDO CORPORATION®

特殊なシリコンと樹脂の組合せにより

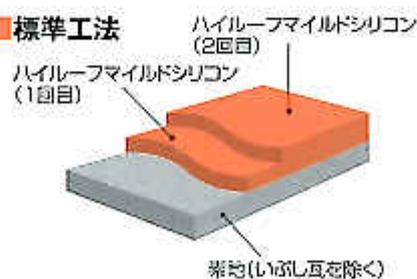
各種旧塗膜への**付着性**や瓦素地への**浸透性**と**固着効果**を上げ、
合わせて**超耐候性の両立**を実現したハイブリッド塗料。

- 2工程で仕上げることができます。(標準工法)
- トップコートにクリアーを塗装することにより、フッ素樹脂並みの耐候性にすることができます。(プレミアム工法)
※ハイルーフマイルドいぶしは除く
- 乾燥が早く作業性が良好です。
- 光沢が良く、長期にわたり色艶を維持します。



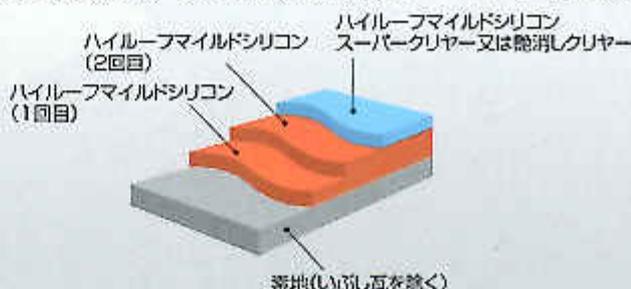
塗装は
2工程で完了!

標準工法



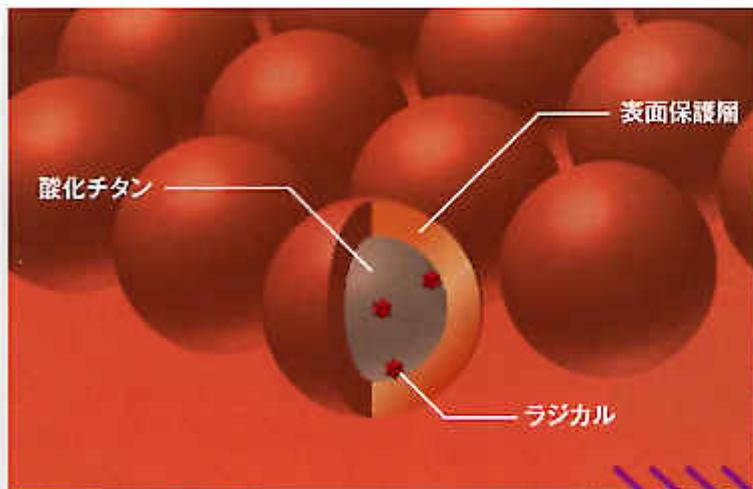
プレミアム工法(ハイルーフマイルドいぶしは不可) →5ページに掲載

吸い込みが激しい素地や
より耐候性を求める場合
(3工程)



塗膜の劣化を抑えるラジカル制御技術

ラジカルとは塗膜に紫外線が当たる事により発生する物質で、
塗膜を劣化させる大きな要因となるものです。
そのラジカルの発生と活動を抑えることで、
塗膜の耐候性を飛躍的に向上することが可能となります。

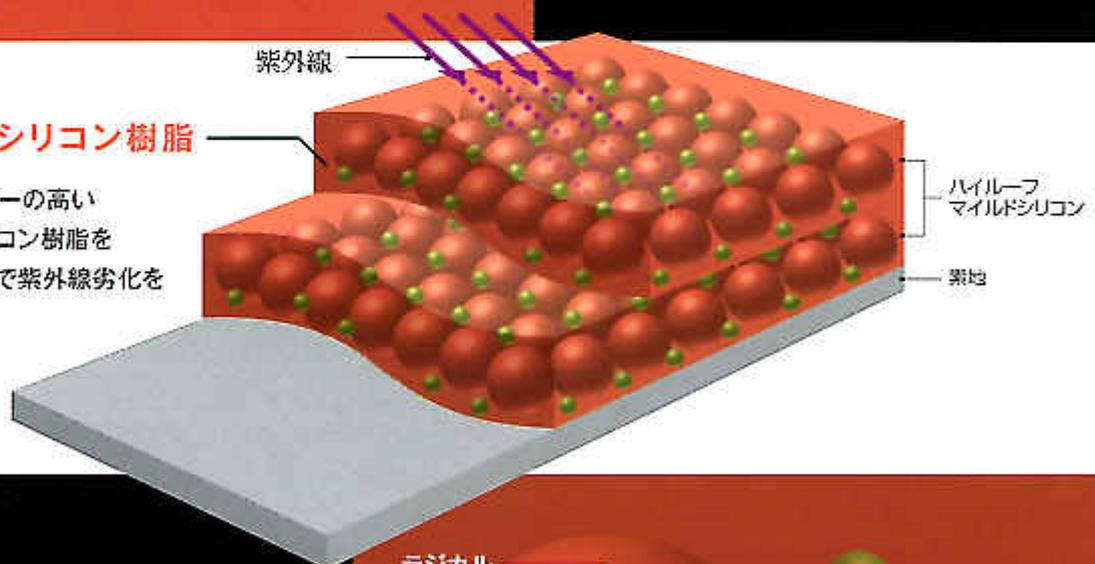


酸化チタンの表層保護

チタン表面に
ラジカルを発生しづらくする
表面保護層を設ける事で
劣化を抑制します。

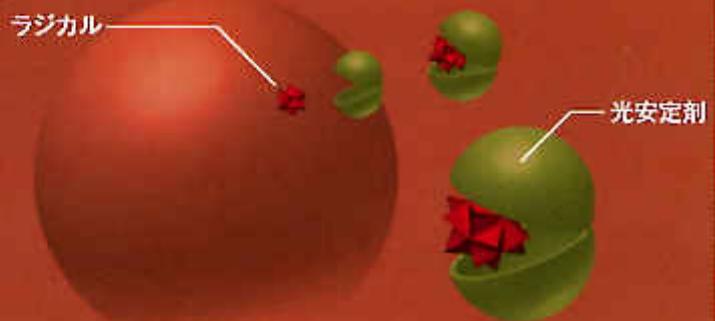
高耐候性シリコン樹脂

結合エネルギーの高い
高耐候性シリコン樹脂を
採用することで紫外線劣化を
抑制します。



光安定剤によるラジカルの捕捉

塗膜劣化の原因となる
ラジカルを光安定剤が捕捉し、
無害化する事で、
連鎖的におこる塗膜劣化を防止します。



ハイルーフマイルドシリコン (弱溶剤2液ラジカル制御形シリコン樹脂系塗料)

| | | | | | |
|----|-----------------------|----------|-----------------------|--------------------------------|---|
| 用途 | 各種化粧スレート (カラーベスト等) | プレスセメント瓦 | 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等) | 陶器瓦 ※色し塗料を塗装しても 剥離は防げません | 金属屋根 ※下塗にヤネタイトマイルド又は ハイソリッドシリコンプライマーIIの 仕掛を推奨します |
| | 注:ノンアスベストの波形スレートは不可 | | | | |

特長 はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。
 ※銀黒系(3色)をはけ、ローラーで塗装の場合、メタリック感が出にくい場合があります。
 はけは隅とりのみにご使用下さい。(仕上げはローラーで行って下さい。)

荷姿 15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg)
 3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg)

可使用時間 (23℃) 8時間

Colors

| | | | | | | | |
|----------------------|---------------------|--------------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 015 ブラック(黒) | 110 スレートブラック | 120 アッシュグレー | 130 N4グレー | 140 グレー | 210 ココナッツブラウン | 220 コーヒーブラウン | 230 ワインレッド |
| 240 テラコッタ | 250 シャインレッド | 260 オレンジ | 270 イエローオーカー | 310 ウェザードグリーン | 320※1 ミラノグリーン | 360 ミッドナイトブルー | 370 ナイスブルー |
| 020シルバー (金属屋根用です) | 410銀黒※2 シルバーブラック | 420銀黒※2 ダークシルバー | 430銀黒※2 ミディアムシルバー | | | | |

※色見本は印刷のため色調が異なります。ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。
 ※金属屋根は防錆効果を上げるため、ヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIが必要です。
 ※1 経時での色の変化が他の色より目立ちやすいので、トップコートにスーパークリヤーもしくは艶消しクリヤーの塗装を推奨します。
 ※2 メタリック調の仕上りになるため、金属屋根への塗装は不向きです。金属屋根には020シルバーを塗装して下さい。また020シルバーに造熱型はありません。

ハイルーフマイルドシリコン・ハイルーフマイルドシリコン 遮熱型 標準工法

■未塗装及び塗替 (化粧スレート/カラーベスト等) プレスセメント瓦 乾式コンクリート瓦(モニエル瓦等) 陶器瓦 金属屋根

| 工程 | 品名 (配合比) | 希釈剤 希釈率(質量%) | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗装方法 | 塗装間隔 (23℃) |
|------------|--------------------------------|-----------------|------------|-------------------------------|--|---------------|
| 1 素地調整 | 化粧スレート(カラーベスト等) プレスセメント瓦 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層、チョーキング層を高圧水洗で除去し清浄にする。水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。 プレスセメント瓦で若干の凹凸がある場合は水系ハイルーフアンダーガードをご使用下さい。 | |
| | 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦/クボタ瓦等) | | | | <ul style="list-style-type: none"> 高圧水洗(圧力15MPa以上、水量15L/分以上)で、弱った着色スラリー層を除去し、乾燥した瓦の表面をウエス等で擦り、汚れが付かなくなる程度まで洗浄する。 水洗後は十分に乾燥(夏期は24時間以上、冬期は48時間以上)させる。 | |
| | 陶器瓦 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層を高圧水洗(3~5MPa)で除去し清浄にする。水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。(洗浄のときは高圧にしないで下さい。雨濡りする場合があります。) | |
| | 金属屋根 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ごみ、ほこり、チョーキング粉などを高圧水洗で除去し清浄にする。 遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーなどの電動工具、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどの手工具を併用して除去し、活膜だけを残す。 錆蝕している場合は、同様に錆を除去します。 下塗りとして必ずヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIを塗装する。 塗付量は上塗り1回目、2回目とも0.10~0.14kg/m²/回となります。 | |
| 2 上塗り(1回目) | ハイルーフマイルドシリコン及び遮熱型(主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.13~0.15 | はけ ローラー エアレス | 2時間以上 |
| 3 上塗り(2回目) | ハイルーフマイルドシリコン及び遮熱型(主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.13~0.15 | はけ ローラー エアレス | |

注意

- ※素地の種類、劣化の状態によって塗付量は増減します。
- ※カラーベスト(コロニアル)の重なり部分が塗料で詰まっている箇所は縁切りを行う。
- ※旧塗膜が部分的に割れている場合は、タッチアップが必要な場合があります。
- ※メタリックは塗装方法・条件によって仕上がり色が若干異なる場合があります。
- ※乾式コンクリート瓦は素地の組み立てによって塗料塗布量が少なくなる(半減)場合があります。3回~4回塗布が必要場合があります。
- ※初めての塗装の場合、乾式コンクリート瓦の1回目の塗装時の希釈率は若干多めにして下さい。
- ※詳細は仕様書で確認して下さい。
- ※苔、カビが多い場合は薬剤(コートサイド下地処理剤)で処理して下さい。
- ※プレスセメント瓦や化粧スレートの素地の痛みが懸念時は、ハイソリッドシリコンプライマーIIの使用も検討して下さい。
- ※金属屋根に塗装する場合は、ヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIを塗装して下さい。

ハイルーフ マイルドシリコン 遮熱型 (弱溶剤2液ラジカル制御形シリコン樹脂系塗料)

| | | | | | |
|----|--|----------|------------------------------|--------------------------------|--|
| 用途 | 各種化粧スレート (カラーベスト等) | プレスセメント瓦 | 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等) | 陶器瓦 ※ 旧塗料を塗装しても 剥離は防げません | 金属屋根 ※ 下地にヤネタイトマイルド又は ハイソリッドシリコンプライマーIIの 仕様が推奨します |
| 特長 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般塗料と比べ屋根の温度を大幅に低下させます。 注:ノンアスベストの波形スレートは不可 ● はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。 | | | | |
| 荷姿 | 15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg) | | 3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg) | | 可使用時間 (23℃) 8時間 |

Colors

| | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------------|----------------|--------------------|
| 色名 | 515 ブラック(黒)クール | 610 スレートブラッククール | 620 アッシュグレークール | 630 W4グレークール | 640 グレークール | 710 ココナツブラッククール |
| 近赤外反射率※1(明度) | 41.1 (10.3) | 41.0 (16.2) | 44.7 (24.7) | 45.2 (36.3) | 50.3 (48.3) | 40.7 (13.2) |
| 日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2 | ☆ (0.79) | ☆ (0.78) | ☆ 0.75 | ☆ (0.73) | ☆ (0.66) | ☆ (0.79) |
| 色名 | 720 コーヒブラウンクール | 730 ワインレッドクール | 740 テラコッタクール | 750 シャインレッドクール | 760 オレンジクール | 770 イエローカークール |
| 近赤外反射率※1(明度) | 41.2 (11.5) | 43.6 (19.2) | 45.6 (35.4) | 45.5 (32.9) | 59.7 (49.6) | 59.2 (54.3) |
| 日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2 | ☆ (0.78) | ☆ (0.77) | ☆ (0.70) | ☆ (0.72) | ☆☆ 0.58 | ☆☆ (0.60) |
| 色名 | 810 ウェザードグリーンクール | 820※3 ミラノグリーンクール | 860 ミッドナイトブルークール | 870 ナイスブルークール | 501 ホワイトクール | 550 ライトグリーンクール |
| 近赤外反射率※1(明度) | 45.2 (23.3) | 43.8 (33.0) | 40.3 (16.2) | 53.0 (30.2) | 84.9 (96.3) | 84.6 (86.7) |
| 日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2 | ☆ (0.76) | ☆ (0.75) | ☆ (0.79) | ☆ (0.71) | ☆☆☆ 0.16 | ☆☆☆ (0.26) |
| 色名 | 560 ライトグリーンクール | 570 ライトブルークール | | | | |
| 近赤外反射率※1(明度) | 84.0 (86.1) | 83.9 (83.6) | | | | |
| 日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2 | ☆☆☆ (0.27) | ☆☆☆ (0.30) | | | | |

(上記数値は測定値であり性能を保証する数値ではありません。)

※1 近赤外反射率はJIS K 5675に準じて試験した結果です。

※2

遮熱塗料

遮熱効果 ★★★★★

03-06 00-04 04>

一般社団法人 日本塗料工業会

[遮熱塗料(屋根用)]業界基準

日本塗料工業会では、遮熱効果の基準を満たした塗料を、申請によって「遮熱塗料(屋根用)」として登録しています。

日射侵入比は、太陽熱に対する遮熱効果(どのくらいの熱が室内側に伝わるかを、比率で表した数値です。その遮熱効果を☆数で区分しています。なお、塗膜品質に関する保証・責任は、塗料製造会社および塗料販売会社が負うものとします。※詳細は、日塗ホームページでご確認ください。

一般社団法人 日本塗料工業会

※3 程時での色の变化が他の色より目立ちやすいので、トップコートにスーパークリアーもしくは艶消しクリアーの塗装を推奨します。(プレミアム工法)

※色見本は印刷のため色調が異なります。ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。

標準色カラーサンプルはマイルドシリコンの色にあわせていますので、遮熱型は同系統の色でも色が異なる場合があります。

※温度・塗付量・膜厚等により、色が異なる場合があります。

※金属屋根は防錆効果を上げるため、ヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIが必要です。

プレミアム工法

更なる耐候性付与として

ハイルーフマイルドシリコン スーパークリヤー・艶消しクリヤーを
トップコートとして塗装する事で、
フッ素樹脂並みに耐候性が向上します。

過酷な条件下で求められる性能

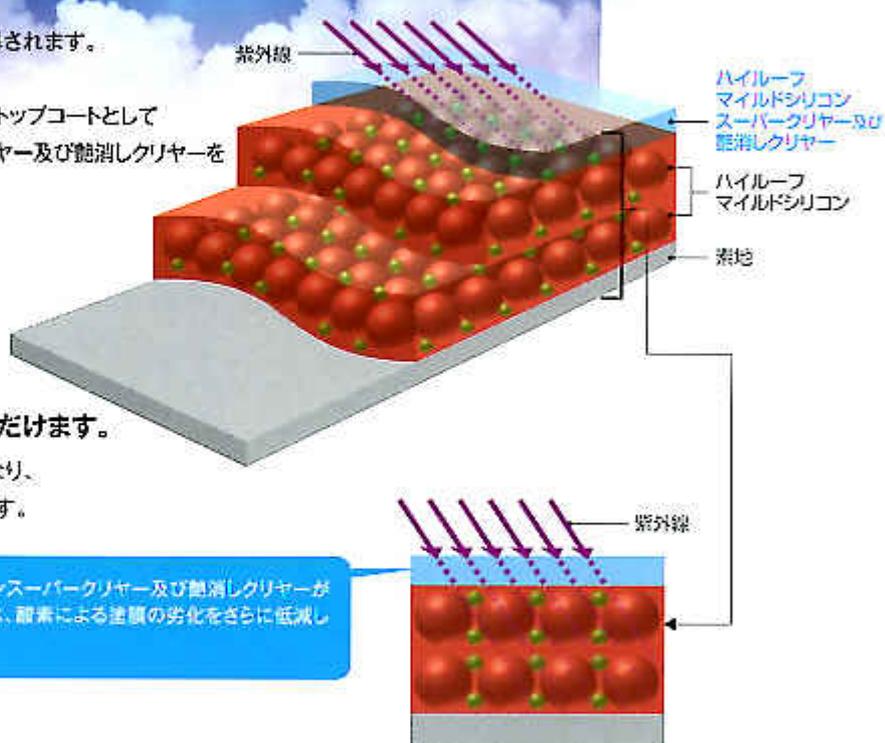
屋根は、外壁と比べ太陽光を直接受けて夏は熱くなり、
地域によっては酸性雨、積雪、塩分、
火山灰の滞留など最も過酷な環境に曝されます。

耐候性に優れた

ハイルーフマイルドシリコン標準工法にトップコートとして
ハイルーフマイルドシリコンスーパークリヤー及び艶消しクリヤーを
施工することでさらに耐候性を
高めることができます。

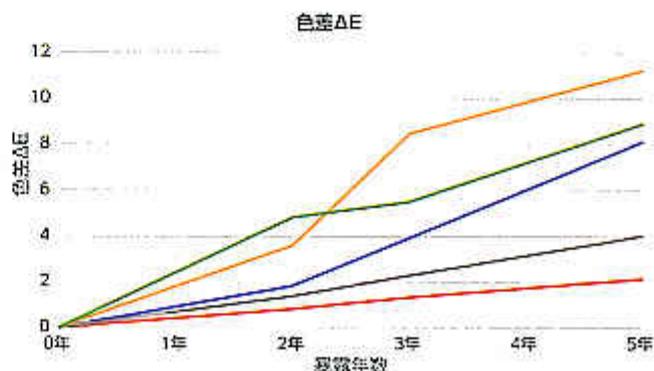
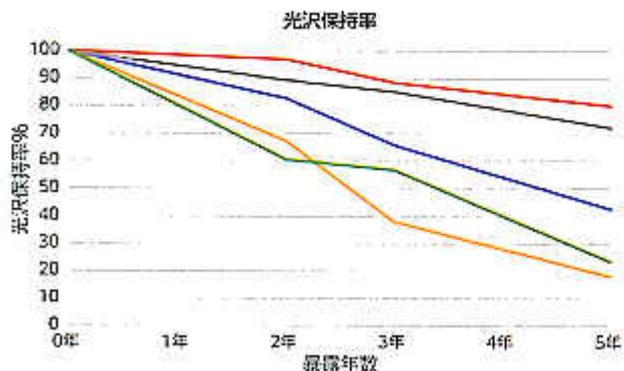
より艶のある仕上がりの
「スーパークリヤー」または、
艶を消した落ち着いた仕上がりの
「艶消しクリヤー」をお選びいただけます。

塗りがりがさらに美しい仕上がりになり、
塗膜の劣化による艶ムラも低減されます。



ハイルーフマイルドシリコンスーパークリヤー及び艶消しクリヤーが
太陽光の紫外線及び熱、水、酸素による塗膜の劣化をさらに低減し
耐候性が向上します。

屋外暴露データ
(社内試験)



■ ハイルーフマイルドシリコン (標準工法)
 ■ プレミアム工法
 ■ フッ素樹脂系塗料
■ 他社品シリコンA
 ■ 他社品シリコンB

■ ハイルーフマイルドシリコン (標準工法)
 ■ プレミアム工法
 ■ フッ素樹脂系塗料
■ 他社品シリコンA
 ■ 他社品シリコンB

ハイルーフ マイルドシリコン スーパークリヤー・艶消しクリヤー

用途

各種化粧スレート
(カラーベスト等)

プレスセメント瓦

乾式コンクリート瓦
(モニエル瓦等)

陶器瓦

※但し塗料を塗装しても
凍傷は防げません

金属屋根

※下地にヤネタイトマイルド又は
ハイソリッドシリコンプライマーIIの
仕替を推奨します

特長

- スーパークリヤー及び艶消しクリヤーを塗装することにより、飛躍的に耐候性が向上します。
- 艶消しクリヤーを塗装することにより、艶の消えた高級な仕上がりになります。
- 吸い込みが激しい素地の艶ムラも低減されます。
- はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。

注:ノンアスベストの波形スレートは不可

荷姿

15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg)

3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg)

可使用時間

(23℃)

8時間

Colors クリヤー(020シルバーの上にクリヤーは塗装できません)

ハイルーフ マイルドシリコン・ハイルーフ マイルドシリコン 遮熱型 プレミアム工法

未塗装及び塗替

化粧スレート(カラーベスト等)

プレスセメント瓦

乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、クボタ瓦等)

陶器瓦

金属屋根

| 工程 | 品名 (配合比) | 希釈剤 希釈率(質量%) | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗装方法 | 塗装時間 (23℃) |
|-----------------|--|---|------------|-------------------------------|--------------------|---------------|
| 1 素地調整 | 化粧スレート(カラーベスト等) プレスセメント瓦 | <ul style="list-style-type: none"> 表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層、チョーキング層を高压水洗で除去し清浄にする。水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。 プレスセメント瓦で若干の凹凸がある場合は水系ハイルーフアンダーガードをご使用下さい。 | | | | |
| | 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦、クボタ瓦等) | <ul style="list-style-type: none"> 高压水洗(圧力15MPa以上、水量15L/分以上)で、削った着色スラリー層を除去し、乾燥した瓦の表面をウエス等で擦り、汚れが付かなくなる程度まで洗浄する。 水洗後は十分に乾燥(夏期は24時間以上、冬期は48時間以上)させる。 | | | | |
| | 陶器瓦 | <ul style="list-style-type: none"> 表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層を高压水洗(3~5MPa)で除去し清浄にする。水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。(洗浄のときは高圧にしない下さい。雨漏りする場合があります。) | | | | |
| | 金属屋根 | <ul style="list-style-type: none"> ごみ、ほこり、チョーキング粉などを高压水洗で除去し清浄にする。 遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーなどの電動工具、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどの手工具を併用して除去し、活膜だけを残す。 銹錆している場合は、同様に銹を除去します。 下塗りとして必ずヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIを塗装する。 塗付量は上塗1回目、2回目とも0.10~0.14kg/m²/回となります。 | | | | |
| 2 上塗 (1回目) | ハイルーフ マイルドシリコン 及び 遮熱型 (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.13~0.15 | はけ ローラー エアレス | 2時間以上 |
| 3 上塗 (2回目) | ハイルーフ マイルドシリコン 及び 遮熱型 (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.13~0.15 | はけ ローラー エアレス | 16時間以上 |
| 4 トップコート 仕上げ | ハイルーフ マイルドシリコン スーパークリヤー・艶消しクリヤー (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~20 | 1 | 0.10~0.13 | はけ ローラー エアレス | |

- 厚く塗らないで下さい。
- スーパークリヤーを塗装するときは、ハケ返しの塗装はしないで下さい。(なでる様に塗装のこと)
- 上塗り塗装後16時間以上してから塗装して下さい。

注意

- 素地の種類、劣化の状態によって塗付量は増減します。
- カラーベスト(コロニアル)の重なり部分に塗料で詰まっている箇所は縁切りを行う。
- 旧塗膜が部分的に剥がれている場合は、タッチアップが必要な場合があります。
- 乾式コンクリート瓦は素地の傷み具合によって塗装面積が少なくなる(半減)場合があります。3回~4回塗装が必要な場合があります。
- 初めての塗替えの場合、乾式コンクリート瓦の1回目の塗表時の希釈は若干多めにして下さい。
- 詳細は仕様書で確認して下さい。
- 苔、カビが多い場合は薬剤(コートサイド下地処理剤)で処理して下さい。
- プレスセメント瓦や化粧スレートの素地の高みが低い時、金属屋根で錆の発生が少ない時は、ハイソリッドシリコンプライマーIIの使用も検討して下さい。
- 金属素地に塗装する場合は、ヤネタイトマイルド又は、ハイソリッドシリコンプライマーIIを塗装して下さい。

ハイルーフマイルドいぶし (弱溶剤2液シリコン樹脂系塗料)

用途

いぶし瓦
※但し塗料を塗装しても
凍結は防げません

陶器瓦
※但し塗料を塗装しても
凍結は防げません

注:化粧スレート、乾式コンクリート瓦、プレスセメント瓦には塗装できません。

特長 **ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。**
※はけは隅とりのみにご使用下さい。(仕上げはローラーで行って下さい。)

荷姿 **15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg)**
3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg)

可使用時間
(23℃) **8時間**

Colors

いぶし銀 No.3 いぶし銀 No.4 いぶし銀 No.5

※色見本は印刷のため色調が異なります。
 ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。

ハイルーフマイルドいぶし 標準塗装仕様

■未塗装 いぶし瓦 陶器瓦

| 工程 | 品名 (配合比) | 希釈剤 希釈率(質量%) | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗装方法 | 塗装間隔 (23℃) | |
|----|-------------|--|-----------------|-------------------------------|-----------|---------------|-------|
| 1 | 現地調整 | ●表面のこみ、泥、苔、かび及び劣化した表層を高圧水洗(3~5MPa)で除去し清浄にする。 水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。(洗浄のときは高圧にしないで下さい。雨漏りする場合があります。) | | | | | |
| 2 | 上塗 (1回目) | ハイルーフ マイルドいぶし (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.07~0.09 | ローラー エアレス | 2時間以上 |
| 3 | 上塗 (2回目) | ハイルーフ マイルドいぶし (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1 | 0.07~0.09 | ローラー エアレス | |

- 注意**
- 深凹部分は塗装しないで下さい。
 - メタリックは塗装方法・膜厚・乾燥条件によって仕上がりが色が若干異なる場合があります。
 - 根瓦の上には塗装しないで下さい。
(水分の通り道になる為、膨れ、剥がれが起きる可能性があります)

◎注意事項

1. 希釈シンナーは塗料用シンナー以外、使用しないで下さい。
2. エアレス塗装の場合はホース内の水分・強溶剤等を完全に除去して下さい。
3. 一般に厚塗りをしないで下さい。発泡、リフティングが発生する場合があります。
4. 高所作業となりますので、安全面の対策は万全を期し、ヘルメット、安全ベルトなどを着用して下さい。
5. 洗浄は屋根棟部から軒先に向けて行って下さい。逆洗浄は水漏れの原因となりますのでご注意ください。
6. 汚れのひどい場合は、デッキブラシ・タワシなども併用し、汚れを完全に除去して下さい。劣化の著しい瓦は、葺替え等をおこなって下さい。
7. 秋季のような昼と夜の温度差が激しい時期には結露によるつや引け現象が起こる可能性があります。
8. 夜露の降りる恐れのある場合は、2~3時間前に塗装を終了して下さい。
9. 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。
 - ① 気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
 - ② 被塗物が異常に高温の時
 - ③ 朝夕の結露時期
 - ④ 降雪時、またはその恐れのある時
 - ⑤ 強風下、塵埃などが付着する恐れのある時

■素材別判定・素地調整基準

| 瓦の形状 | 和形(和瓦) | 本葺き | S形 | F形 | ヨーロッパ形 |
|----------|---|-----|---|---|---|
| 全景写真 | | | | | |
| 形状の有無 | 有 | 有 | 有 | 有 | 有 |
| 瓦の特長 | 瓦表面は硬くカッターで傷が付きにくい。瓦裏面はクリームかレンガ色が多い。 軸葉 表面 裏面 焼成瓦 表面 裏面 | | | 塩焼き瓦・遮元瓦(越前瓦・安田瓦は銀黒) 素焼き瓦(無軸葉)は同じ色で艶が無い。 | |
| 主要産地 | 三州瓦(愛知県)、淡路瓦(兵庫県)、菊間瓦(愛媛県)、石州瓦(島根県)等 | | | | |
| 素地調整 | 高圧洗浄機で圧力3~5MPa、水量は13L/分以上。雑巾で(2回以上)拭き取るの可。 | | | | |
| 塗装上の注意 | ●洗浄時に滑るので、注意。 ●洗浄の確認は白い布に水を含ませ、瓦表面をゆっくり擦り、黒・赤等の色が付かない事を確認する。(かび、苔等の分泌物の付着確認試験) | | | | |
| 形状の有無 | 有 | 有 | 有 | 有 | 有 |
| 瓦の特長 | 瓦表面は塗膜で、カッターで傷がつく。瓦裏面はセメント色が大半で、布目模様がある。 裏面 裏面拡大写真 | | | 木口部分の拡大写真 凸凹が無い。 | |
| 主要産地 | 鹿児島県~宮城県(仙台)までの主に太平洋側各地区。(高知県・大分県に和瓦塗装した瓦有り。) | | | | |
| 素地調整 | 高圧洗浄機で圧力8~12MPa、水量は15L/分以上。 | | | | |
| 塗装上の注意 | ●弱溶剤に溶ける塗膜には塗装不可。 ●旧塗膜が素地に密着しているか、ガムテープ剥離試験を行って確認してから塗装する。 ●ヴィクトリー(瓦の名前・輸入瓦)は塗装不可。・若干の凹凸のある素地には水系ハイライフアンダーガードをご使用下さい。 | | | | |
| 形状の有無 | 無し | 無し | 無し | 有 | 有 |
| 瓦の特長 | 瓦表面は擦ると色粉が極端に付く。瓦裏面は会社名が刻印されている。布目模様が無い。 表面 表面拡大写真 | | | 木口部分の拡大写真 凸凹が有る | |
| 主要産地 | モニエル瓦・クボタ洋瓦(全国)、スカンジヤ瓦(山口県・九州・四国)、ハルモリック乾式瓦(静岡県周辺) | | | | |
| 素地調整 | 高圧洗浄機で圧力15MPa以上、水量は15L/分以上、洗浄ノズル距離30cm以内。 | | | | |
| 塗装上の注意 | ●乾燥した瓦の表面をウエス等で擦り、汚れが付かなくなる程度まで洗浄する。 ●1回目の塗装は希釈を多くする。 ●基材の吸い込みによっては、3回から4回必要な場合があります。 | | | | |
| 屋根材の特長 | セキスイかわらSU 遠くからは和形に見える。 1枚の写真 1枚の写真 1枚の写真 1枚の写真 | | セキスイかわらS-CITY 遠くからはヨーロッパ形に見える。 1枚の写真 1枚の写真 | | カラーベスト(コロニアル) 遠くからはF形に見える。 1枚の写真 1枚の写真 |
| メーカー名 | クボタ・松下電工(合併後KMEW)、大和スレート(エタニット)、大建(ナチュラル)等各種 | | | | |
| 素地調整 | 高圧洗浄機で圧力8~10MPa、水量は13L/分以上。 | | | | |
| 塗装上の注意 | ●塗膜が剥れている場合の1回目の塗装は希釈を多くする。 ●基材の強度が弱くなっている場合あり、踏み割れ注意。 ●傷みのひどい「セキスイかわらU」は塗装しないで下さい。 | | | | |
| 形状の有無 | 有 | 有 | 有 | 有 | 無し |
| 瓦の特長 | 瓦表面は硬くカッターで傷が付く。新しい瓦は両面同じ銀箔色で艶が無い。 表面 裏面 | | | 古くなれば黒く焼けた粘土が出て銀箔と斑模様になっている。 | |
| 主要産地 | 三州瓦(愛知県)、淡路瓦(兵庫県)、菊間瓦(愛媛県)等 以前は全国各地区にあった。 | | | | |
| 素地調整 | 高圧洗浄機で圧力3~5MPa、水量は13L/分以上。 | | | | |
| 塗装上の注意 | ●洗浄時に水分を含むと強度が弱くなるので、踏み割れ注意。 ●洗浄の確認は白い布に水を含ませ、瓦表面をゆっくり擦り、黒・赤等色が付かない事を確認する。(かび、苔等分泌物の付着確認試験) | | | | |
| 塗装できない素材 | 自然石(玄呂石)、アスファルトシングル(タール系屋根材)、波形スレート(ノンアスベストタイプ)、弱溶剤に溶ける旧塗膜がある屋根材等。別の塗料で塗装可能な素材(屋根材)もあるため、塗装方法・見分け方についてはお問い合わせ下さい。 | | | | |

塗膜の剥がれた古い化粧スレートなどの吸い込みが激しい素地のときに上塗りの艶をより出したい場合や、防錆性^{※1}を必要とする場合の屋根専用プライマー。

ハイソリッドシリコンプライマーⅡ

※1 1液エポキシ樹脂系さび止め塗料相当

| | | | | | |
|----|---------------------|----------|-----------------------|----------------------------------|--------------------|
| 用途 | 化粧スレート (カラーベスト等) | プレスセメント瓦 | 乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等) | 陶器瓦 ※1 塗り塗料を塗布しても 剥離は防げません | 金属屋根 ^{※2} |
|----|---------------------|----------|-----------------------|----------------------------------|--------------------|

※2 適用素材は下記注意事項に記載

特長 はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。

荷姿 15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg) 可使時間(23℃) 5時間

| Colors | アンダーアッシュグレー | アンダーグレー | アンダーブラウン | アンダーアッシュグレー 遮熱型 | アンダーグレー 遮熱型 | アンダー 85グレー 遮熱型 | アンダーブラウン 遮熱型 |
|-------------------------|--|--------------------------|-------------------------------|--|------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 推奨 上塗り色 (色番号のみ記載) | D15, 110, 120, 210, 220, 310, 360, 370, 410, 420 | 130, 140, 320, 430 | 230, 240, 250, 260, 270 | 515, 610, 620, 710, 720, 810, 860, 870 | 630, 640, 820 | 501, 550, 560, 570 | 730, 740, 750, 760, 770 |

塗膜の剥がれた古い化粧スレートに塗装したときの仕上り



標準塗装仕様(上塗がハイルフマイルドシリコンの場合)

■未塗装及び塗替 金属屋根 化粧スレート プレスセメント瓦 乾式コンクリート瓦 陶器瓦

| 工程 | 品名 (配合比) | 希釈剤 希釈率(質量%) | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗装方法 | 塗装時間 (23℃) |
|--------|--|-----------------|------------|-------------------------------|--------------------|----------------|
| 1 素地調整 | <p><未塗装の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> こみ、ほこり、チョーキング粉、劣化した表層などを高圧水洗で除去し清浄にする。 発錆している部分はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを用いて錆を除去する。 <p><塗替の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> こみ、埃、チョーキング粉、遊離塗膜や不安定な塗膜、劣化した表層などを高圧水洗で除去し清浄にする。 遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを併用して除去し、活膜だけを残す。発錆している部分は同様に錆を除去する。 | | | | | |
| 2 下塗 | ハイソリッド シリコンプライマーⅡ (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 5~15 | 1 | 0.13~0.17 | はけ ローラー エアレス | 16時間以上 7日以内 |
| 3 上塗 | ハイルフマイルドシリコン (主剤:硬化剤=5:1) | 塗料用シンナー 0~10 | 1~2 | 0.13~0.15 | はけ ローラー エアレス | 2時間以上 |

※素地の吸い込み又は、痛み具合によって塗付量が多くなる場合があります。

◎注意事項

- ハイソリッドシリコンプライマーⅡは主剤と硬化剤を割合した場合、5時間以内(23℃)に使い切ってください。
- ハイルフマイルドシリコン上塗は主剤と硬化剤を混合した場合、8時間以内(23℃)に使い切ってください。
- 各種金属(カラー鋼板、亜鉛鉄板、ブリキ、ガルバリウム、フッ素鋼板等)に塗装できます。但し、フッ素鋼板には試験塗装が必要です。
- 塩ビ鋼板には塗装できません。
- 各種用塗膜(アクリル、ウレタン、シリコン、フッ素、水性)に塗装できます。
- 旧塗膜が部分的に剥がれており、素地が酷く傷んでいる場合は、タッチアップが必要な場合があります。
- 化粧スレート・プレスセメント瓦・乾式コンクリート瓦の表層にある隙間層は高圧水性で除去して下さい。残っていると剥離等が発生する恐れがあります。
- 素地の吸い込み又は、酷く傷んでいる場合は、上塗を2~3回塗装する必要がある場合があります。
- ハイソリッドシリコンプライマーⅡは素地の吸い込み又は、痛み具合によって塗付量が多くなる場合があります。
- いぶし瓦、波型スレート(ノンアスベストタイプ)には塗装できません。
- 溶剤に溶ける塗膜には、塗装できません。
- 軟質塩ビ鋼板には塗装できません。
- カラーベスト(コロニアル)の重なり部分が塗料で詰まっている箇所は縁取りを行ってください。
- 苔、カビが多い場合は薬剤(コートサイド下地処理剤)で処理して下さい。
- 使った塗料の半端品は蓋を閉め保存後、なるべく早く使用して下さい。塗料・硬化剤共に湿気でゲル化します。
- 夜露の降りる恐れのある場合は、2~3時間前に塗装を終了して下さい。
- 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。
 - 気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
 - 被塗物が異常に高温の時
 - 降雪時、またはその恐れのある時
 - 強風下、塵埃などが付着する恐れのある時
 - 素地のアルカリ度がpH9以上の時

防錆性を必要とする場合の
金属屋根専用プライマー。

ヤネタイトマイルド

用途

金属屋根

特長

- ①塗料用シンナーで希釈出来ますので、臭気が少なく作業環境に優しい塗料です。
- ②改修の際に、旧塗膜の種類(例:アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、エポキシ系樹脂)が何であっても、その塗膜が活膜(下地にしっかりと密着している状態)であれば、そのまま直接塗ることが出来ます。
- ③金属素地(トタン、ブリキ、ステンレス、ガルバリウム等)に直接プライマーとして塗る場合には、その密着性に加えて優れた防錆効果を発揮します。

荷姿

16kgセット(主剤:14.4kg、硬化剤:1.6kg)
4kgセット(主剤:3.6kg、硬化剤:0.4kg)

塗付量

0.16kg/m²

塗装間隔

4時間以上7日以内(23℃)

Colors

※色見本は印刷のため色調が異なります。



白



グレー



赤さび色

苔、カビが生えた屋根の
下地処理剤。

コートサイド®下地処理剤 ※3

※3 大阪ガスケミカル株式会社製

用途

いぶし瓦

※但し塗料を塗装しても
凍融は防げません

乾式コンクリート瓦
(モニエル瓦等)

化粧スレート
(カラーベスト等)

苔、カビ等が
発生している屋根材

特長

- ①苔、カビの生えた面にコートサイド®下地処理剤を塗付するだけで効果を発揮します。
- ②乾燥が早く作業性に優れています。
- ③塩素を使用しておらず、環境に配慮しています。
- ④屋根基材と塗料との密着を阻害しません。

荷姿

16L

有効成分

有機窒素硫黄系化合物

塗付量

100~150ml/m²

塗装方法

スプレー、ローラー、はけ

希釈

無希釈

Colors 透明

ハイラーフ
マイルドシリコンの
注意事項

- 塗付量が少ないと、耐候性に大きく影響しますので塗付量は厳守して下さい。
- 素地の劣化が進み吸込みが多い場合は耐候性が低下しますので、プレミアム工法を推奨致します。
- 硬化剤を混合していない塗料の半端品は蓋を閉め保存後、なるべく早く使用して下さい。
主剤・硬化剤共に単独でも湿気でゲル化します。
- 長期在庫は塗料が湿気を吸湿し増粘する傾向がありますので、必要な数量だけご注文下さい。
- 遮熱型は缶中での色浮きがあるため、必ずよく攪拌してからご使用下さい。

第三者試験機関での日射侵入比試験結果

| 試験結果報告書 | | | |
|------------------------|--|--|--|
| 委託者 株式会社 〇〇〇 | | | |
| 委託先 〇〇〇株式会社 | | | |
| 試験品名 〇〇〇 | | | |
| 試験方法 JIS K 5602 : 2008 | | | |
| 試験結果 〇〇% | | | |

日射反射率
 試験方法：JIS K 5602 : 2008 標準の日射反射率の求め方
 A 分光反射率の測定及び
 B 日射反射率の求め方に準じ、日射反射率を求めた。

第三者試験機関での屋外暴露試験結果

| 試験結果報告書 | | | |
|------------------------|--|--|--|
| 委託者 株式会社 〇〇〇 | | | |
| 委託先 〇〇〇株式会社 | | | |
| 試験品名 〇〇〇 | | | |
| 試験方法 JIS K 5602 : 2008 | | | |
| 試験結果 〇〇% | | | |

試験場所：一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター 露置試験場
 試験期間：平成24年4月27日から5月24日まで

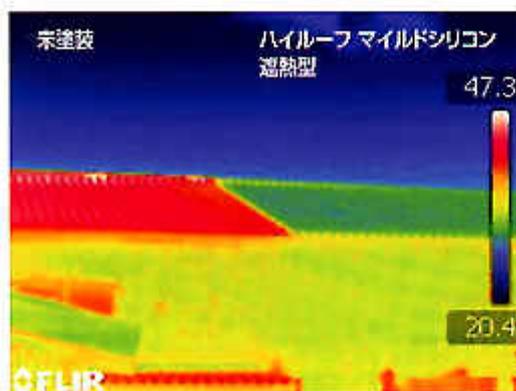
塗膜性能

| 項目 | ハイルーフ マイルドシリコン 標準色 | | ハイルーフ マイルドシリコン 遮熱型 標準色 | | 規格試験方法 |
|--------------|--------------------------|------------|------------------------------|------------|-----------------------------|
| | 23℃ | 5℃ | | | |
| 表面乾燥性 | 合格 | 合格 | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.5 |
| 日射反射率(%) | — | — | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.8 |
| 耐おもり落下性 | 合格 | 合格 | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.9 |
| 鏡面光沢度(60度) | 80以上 | 80以上 | 80以上 | 80以上 | JIS K 5675 7.10 |
| 耐酸性 | 合格 | 合格 | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.11 |
| 耐アルカリ性 | 合格 | 合格 | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.12 |
| 耐湿潤熱熱線返し性 | 合格 | 合格 | 合格 | 合格 | JIS K 5675 7.13 |
| 促進耐候性(光沢保持率) | 80以上 | 80以上 | 80以上 | 80以上 | JIS K 5675 7.14(キセノン2500時間) |
| 旧塗膜との 付着性 | アクリル(溶剤系・水性系) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | JIS K 5600 5-6 |
| | アクリルウレタン(溶剤系・水性系) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | |
| | アクリルシリコン(溶剤系・水性系) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | |
| | 硬質塩ビ | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | |
| | 陶器瓦 | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | 25/25(分類0) | |

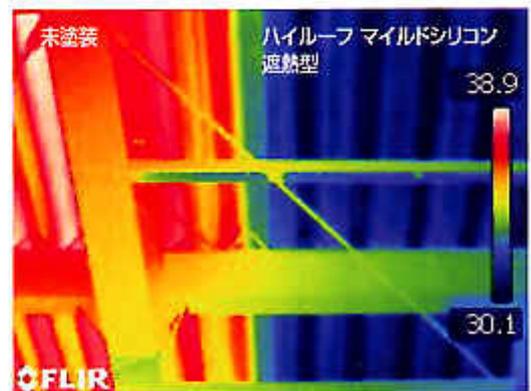
※タール系・弱溶剤(塗料用シンナー)に溶ける旧塗膜には塗装不可。軟質塩ビ調板も塗装できません。

サーモグラフィーによる実際に塗装した屋根表面・裏面の温度状況

未塗装と比較すると
 塗装することで
 屋根表面・裏面温度が
 低下することが
 サーモグラフィーの
 画像から確認することが
 できます。



屋根表面



屋根裏面